



須田っ子 第1号

学校教育目標「すすんで心や体をすこやかにする子」SA・SU・CA・DA



「あったかいっ!」～ 1・2年「生活科見学学習」から(2019.9.12)



須田小 イイね!

ホップ・ステップ・ジャンプ! 2学期の中では9月から10月は、これからの学習への期待感を高める「ホップ」に当たる時期です。陸上記録会に向けての練習は校内マラソン大会への意欲付けにつなげていきます。子供自身に「できる!」自信を感じ取らせ、教師からの技術面での指導を通じ、「できるまで」取り組ませる場面を大切にしていきます。



9/12(木) 生活科見学

低学年では、新潟市「いくとびあ食花」に見学に行きました。ここで飼育されている、やぎ、ひつじ、モルモット、アルパカなどの動物たちと触れあってきました。



9/18(水) 19(木) 小中あいさつ運動

中学生が始業前に小学校まで来て、小学生とハイタッチしながら朝のあいさつをする恒例行事です。笑顔で顔もゆるむ中学生からのあいさつで、小学生の子供たちも…。地域でも自然に広がりを見せて欲しいです。



9/10(火) がんばりタイム始まる

体力向上ががんばりタイムが始まりました。業間休みの数分間を使って、全校で体力(走る)向上に取り組みます。1～4年生はグラウンドのトラックを、5・6年生は、トラックとサーキットコースを組み合わせたコースを走っています。



9月13日(金) 天高く”稲”肥ゆる秋(5年生)

社会科学習から総合的な学習への発展学習の”教室”として活用させていただいてきた”田んぼ”で稲刈り体験をさせていただきました。全部で5俵、約300kgの収穫でした。

第43回加茂地域児童防火ポスター

【優秀賞】

4年生
4年生

【佳作】

4年生
4年生
4年生



夏休み中に取り組んだ作品の中で、審査結果が届いたものがあります。

見方を変えると…

校長 内山 晋

映っているのは、自分の心
動物の大きな黒い瞳に、思わず心が吸い寄せられます。その動物の瞳が大きいのは、自分の行動等が周りに読まれない「自然からの贈り物」だそうです。ですから、動物に愛情を感じるのには、動物の瞳という「心の鏡」に映し出される「自分自身の優しさ」を表しているのかもしれない。先日、低学年の子供たちも、生活科の体験学習で動物たちと触れ、自分が本来もっている心の「あったかさ」を感じ取ってきたと思います。学校では、「見る聞く触る」等の五感を大切にしながら学習を進めています。自分の「外側」にあるものから、自分自身の「内側」にある素晴らしい心にも気付いてほしいです。

「伝えたい」が学びの第一歩

今年も夏休み作品展が2階廊下に展示されました。絵画や工作、習字等の芸術部門、科学研究等の学術部門など、「自分で課題をもち解決

する」子供たちの姿に驚かされます。絵画と習字作品については、希望者から加茂市展(ジュニア部門)にも出品されますし、科学研究については、各学年一作品が、十月二日に行われる科学研究発表会に参加します。自分と違う感じ方・考え方にも気付いてほしいです。先ほどの夏休み作品展に話を戻すと、作品の中に、「ふせ、おすわり」ができる「家族」の賢さを説明している素敵な作品が目が止まりました。結局は、「だれかに」伝えたい」という気持ちから学びを進める一歩につながると改めて感じました。

複数の目で見る

二学期は、子供が好きな教科の体育・図画工作・音楽に関わる学校行事があります。校内マラソン大会や、文化祭などです。ただ、練習や作品づくりの過程で、子供がもつ感じ方は様々です。「思い通りにならない」等の壁にぶつかる場面もあります。教員間での情報共有(複数の目)を密にして指導を進めていきます。

見方を変えることで、広がりが見られます。



須田小へのご
ごころ

